entre-labo corporation
あなたのビジネスを
明るく元気にする
セミナー情報を発信

EL NEWS!
2026 10/15 no.382

EL NEWS! WEB版
好評
配信中!!
ご登録は
コチラ▶



アドラー心理学から学ぶ、部下の主体性を引き出すマネジメント

今回は、11 月 13 日（金）15 時より開催予定の『アドラー心理学から学ぶ「部下の主体性」を引き出すマネジメント研修 体験セミナー ～「指示待ち」から、自ら考え・動く部下を育てる関わり方～』についてご紹介をさせて頂ければと思います。

今回は、部下の主体性を引き出すマネジメントについて考えてみたいと思います。

「言われたことはやる。でも、自分からは動かない」

「何かあるたびに、上司の判断を求めてくる」

「もっと主体的に行動してほしいのに、なかなか変わらない」

経営者や管理職、人事担当者の皆様から、このようなお悩みを伺うことがあります。

では、部下が「指示待ち」になってしまうのは、本当に本人の意欲や能力だけの問題なのでしょうか。

実は、上司の何気ない関わり方が、部下の主体性を妨げていることもあります。

例えば、部下が考える前に上司が答えを出してしまう。

自分で判断して行動すると、細かく修正される。失敗すると「なぜ事前に確認しなかった?」と言われる。

こうしたことが続けば、部下は「自分で考えて行動するより、指示を待っていた方が安全だ」と感じるようになるかもしれません。

そこで今回ご紹介するのが、「アドラー心理学から学ぶ『部下の主体性』を引き出すマネジメント研修」です。

この研修では、「主体性のない部下をどう変えるか」ではなく、「部下が主体性を発揮しやすい関係をどうつくるか」という視点から、上司自身の関わり方を見直していきます。

その土台となるのが、アドラー心理学で大切にされる「尊敬・信頼・共感」です。

部下を一人の人間として尊重する。部下の可能性を信頼し、任せてみる。そして、相手の立場や気持ちを理解しようとする。

こうした関わりが、部下が安心して自分の考えを伝え、行動するための土台になります。

（裏面へつづく）

Next Seminar

11 FRI 6



Nov,6,2026

ディグラム式行動変容研修体験セミナー ～タイプ診断 × 実践研修 ×AI フォローで、「研修して終わり」にしない人材育成へ～

本体験セミナーでは、20 問の「ディグラム診断」を通じて自分のタイプを知り、タイプの違いによって生まれるコミュニケーションの “すれ違い” を、ケースやワークを通じて体験します。

詳細はこちらです。
https://entrelabo.co.jp/public

11 FRI 13



Nov,13,2026

アドラー心理学から学ぶ「部下の主体性」を引き出すマネジメント研修 体験セミナー ～「指示待ち」から、自ら考え・動く部下を育てる関わり方～

本体験セミナーでは、アドラー心理学を土台に、「主体性のない部下をどう変えるか」ではなく、「主体性を発揮しやすい関係をどうつくるか」という視点から、管理職・リーダーの関わり方を考えます。
詳細はこちらです。
https://entrelabo.co.jp/public

さらに、主体性を引き出すために重要なのが、上司の「聴く・問う・待つ」姿勢です。

例えば、部下から相談を受けたとき、すぐに答えを教えるのではなく、

「あなたはどうしたいと思う?」

「どんな方法が考えられる?」

「まず何から始めてみようか?」

と問いかけてみる。

そして、部下が自分で考え、答えを出すまで待ってみる。

もちろん、必要な指示やサポートは欠かせません。

しかし、上司がすべての答えを与えるのではなく、部下自身が考え、判断する機会をつくることが、自律的な行動につながっていきます。

また、研修では、自分の気持ちや考えを主語にして伝える「I メッセージ」も体験します。

例えば、「なぜ報告しないんだ!」と相手を責めるのではなく、「早めに状況を共有してもらえると、私も安心してサポートできる」と伝える。

同じことを伝える場合でも、言葉の選び方によって、相手の受け取り方は変わります。

今回の体験セミナーでは、こうしたアドラー心理学の考え方を、職場で起こりがちなケースやワークを通じて実践的に学びます。

講師の話を聞くだけではなく、参加者自身が考え、対話し、実際に伝え方を試しながら、明日からのマネジメントに活かせるヒントを見つけていきます。

講師を務めるのは、アドラー・コミュニケーション研究所の金井津美氏です。

聖心女子大学卒業後、ホテルオークラでレセプショニストやOJTトレーナーなどを経験。その後、国連日本政府代表部や大手流通会社の人材開発部での勤務を経て、2003 年より研修講師として活動されています。

企業・官公庁・大学などで数多くの研修を担当し、アドラー心理学の「勇気づけ」を大切にした人材育成に取り組んでいます。

また、心理カウンセラーとして社会人の職場復帰支援にも携わった経験を持ち、アドラー心理学を体感できるカードゲームの開発や、全国でのワークショップ開催など、実践的な学びの場を提供されています。

こうした豊富な経験をもとに、部下の意欲や可能性を引き出すための具体的なコミュニケーションを、分かりやすく伝えていただきます。

「もっと主体的に動いてほしい」と求める前に、部下が主体性を発揮しやすい関係をつくる。

部下を変えようとするのではなく、まずは上司自身の関わり方を変えてみる。

部下が自ら考え、判断し、行動できる組織づくりに向けて、今回の体験セミナーでマネジメントのあり方を見直してみませんか?
詳細はこちらです。

https://entrelabo.co.jp/public



【コラム執筆】
人と人、人とコトの仲をつなぐ
仲津定宏

金井さんとは、以前にアドラー心理学をベースとしたカードゲーム研修でも体験セミナーを一緒にさせて頂きました。

最近、今回の体験セミナーに関わる著書も販売され、その流れで、今回の体験セミナーを企画させて頂くことになりました。

研修実施報告

フラワーダイアログ研修体験セミナー実施報告



先日、フラワーダイアログ研修体験セミナーを実施 h しました。講師は、MOA 美術館 美術文化部 光輪花研究部長の戸田 宗裕さんです。

フラワーダイアログ研修は、美術鑑賞や花をいける体験など、アートを通じてビジネスパーソンの感性やものの見方を広げる研修プログラムです。「感性を研ぎ澄ます」「美術や花と対話し、自分と対話する」「内省を促し、日常に生かす」という 3 つの視点を大切にしています。

さらに「Flower Dialog Workshop」では、一輪の花をじっくりと観察し、色や形だけでなく、香りや重さ、手触りなどを五感で受け止めながら、自分が心惹かれる花や花器を選び、実際に花をいける体験を行いました。今回の体験セミナーを通じて、アートは単に「鑑賞するもの」ではなく、柔軟な発想や判断力、自己理解、他者への共感を育む人材育成のアプローチにもなり得ることを体感していただきました。

EL NEWS!
2026 10/15 no.382
企画制作
株式会社アントレ・ラボコーポレーション
http://www.entrelabo.co.jp/
nakatsu@entrelabo.co.jp